

地球惑星科学委員会地球・人間圏分科会（第24期・第3回）議事録

日時：平成30年8月29日（水） 10:00-12:00

会場：日本学術会議 5C(1)(2) 会議室

出席者：春山成子，石川義孝，石川徹，伊藤香織，伊藤悟，植松光男，沖大幹，小口高，小嶋智，近藤昭彦，齋藤文紀，佐竹健治，篠田雅人，杉田文，寶馨，谷口真人，津田敏隆，氷見山幸夫，平田直，村山泰啓，安成哲三，矢野桂司，山形俊男，山川充夫

スカイプ参加：奥村晃史，鈴木康弘，山岡耕春

欠席者：高橋桂子，碓井照子，川幡穂高，張勁，佃栄吉，中田節也，橋口公一，村山祐司，森田喬，山田育穂

配布資料

前回の議事録

資料1．10月15日シンポジウム企画

資料2．学術の動向企画案（10月15日シンポジウム）

資料3．2018年3月シンポジウム案

資料4．海を知り，ともに生きる－One Planet, One Ocean－

資料5．アジアにおけるメガデルタの研究

資料6．Future Earth 関係資料（安成委員作成）

資料7．総合地球環境学研究所 Future Earth アジアハブ資料

議題

1. 前回議事録案の確認
2. 講演1 植松委員「海を知り，ともに生きる－One Planet, One Ocean－」
3. 講演2 齋藤委員「アジアにおけるメガデルタの研究」
4. 公開シンポジウム10月15日開催「グローバル時代のデータ利用と可視化」
5. 「学術の動向」企画案について
6. 公開シンポジウム2019年3月27日予定「繰り返される災害－少子高齢化の進む地域で生き抜くということ－」企画案について
7. 大型研究計画について

8. 地球・人間圏「夢ロードマップ」改定案について（奥村委員）

9. その他

議題 1.

前回の議事録案を確認し，了承された。

議題 2

植松光男委員から「海を知り，ともに生きる－One Planet, One Ocean－」と題した講演が行われ，プラスチックゴミの実態やダストとプランクトンの関係について質疑応答がなされた。

議題 3

齋藤文紀委員から「アジアにおけるメガデルタの研究」と題した講演が行われ，1950年を完新世と人新世の境界とする根拠や，デルタの成長・縮小と人間活動，メコン流域でのダム建設の影響についての質疑応答がなされた。

議題 4.

2018年10月15日開催のシンポジウム「グローバル時代のデータ利用と可視化」について，当日の業務確認と分担を行なった結果，受付（12時から開始），質問票回収，機器操作に関して，3委員から分担する旨の申し出があり，他の業務の有無を再確認した上で，当日午前の分科会で業務分担者を確定することになった。また，各講演者から予定する講演内容の概要紹介が行われ，当日配布する講演要旨の原稿（千字程度）を10月5日までに委員長あて提出することになった。

議題 5

2019年4月出版予定の「学術の動向」での掲載を目指すとして，1月頃には原稿入稿が必要なことと，それまで原稿タイトルの多少の修正は可能なことが委員長から案内された。また，特集1として同誌表紙のイラストを用意する必要があることが前委員長から指摘された。

議題 6

2019年3月27日開催のシンポジウム「繰り返される災害—少子高齢化の進む地域で生き抜くということ—」について、その趣旨・登壇者・タイトルが承認された。開催時期は高校生・大学生および一般に対するアピールを考えて春休み期間としたことや、IRDR分科会との共催について同分科会委員長に打診、内諾が得られたことが報告された。今後、地球惑星科学委員会やIRDR分科会などの承認を経て、幹事会で承認を得た後、関係団体に後援依頼を申請することとなった。

議題 7

Future Earth に関して安成委員より、現在 32 の関連プロジェクトが走っていることや、複合領域で応募することも検討中であることが報告され、10月15日の地球・人間圏分科会で再度話題としたい旨の提案があった。

平田委員より、これまで独立していた4つの課題（海底ケーブル・掘削・高圧・ブイ）を統合し、「リアルタイム観測・超深度掘削・超高圧実験の統合による沈み込み帯 4D 描像 ～地震・噴火から地球の遠未来まで、革新的予測科学への挑戦～」をテーマに応募すること、関連して国際的な研究セミナーでブレインストーミングを実施することが紹介された。

議題 8

藤井地球惑星科学委員会委員長から「地球人間圏科学夢ロードマップ」への簡略化依頼があり、この件が奥村委員に委ねられたことが報告されたとともに、各委員より簡略化の種々のアイデアが出された。引き続き、奥村委員に提案していくことが求められた。

議題 9

地球・人間圏科学に関する書籍の出版状況について次のような報告があった。

- 1) 和書の「穏やかで恵み豊かな地球のために：地球人間圏科学入門」は、2018年6月に刊行されたことが鈴木委員から紹介があった。
- 2) 英語版については、編集の終盤であることが氷見山委員から報告され、執筆担当者への支援依頼がなされた。